

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 プロアマ・コマンダー チーフ	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.500	△RG 0.048	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：コマンダーチーフ

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離 **5** インチ

番

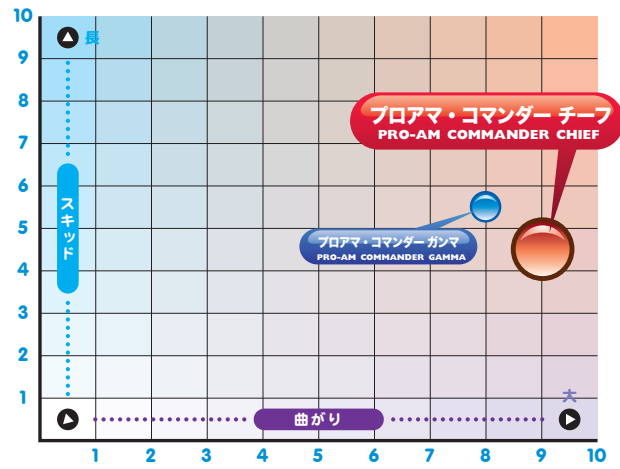
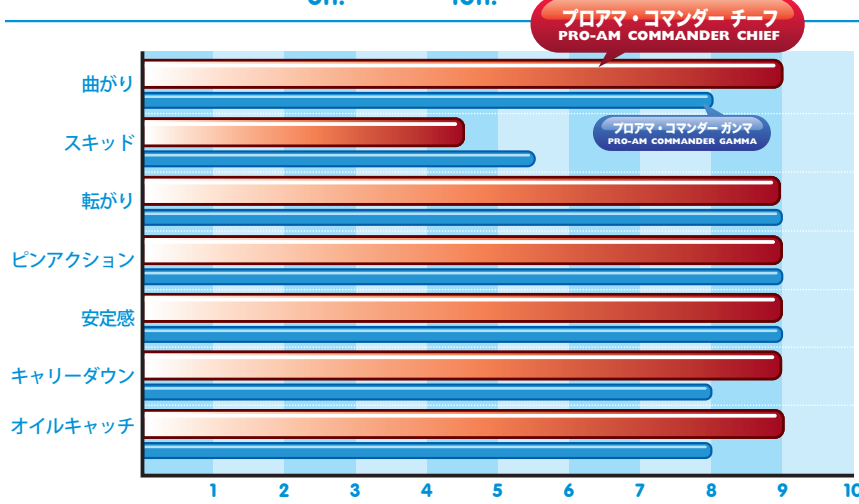
比較対照ボール：コマンダーガンマ

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離 **5** インチ

番



ボールの評価

約1年ぶりの発売になりますCommanderの最新作。HP(High Performance)領域を担うCommanderシリーズですが、「曲がると感じられるボールの作成」単純明快ですがオイルが多い時に曲がりを感じられるボール、その開発コンセプトを進めるためには今までのCoverstock、Core Technologyすべてを白紙にし一新させることが必要でした。それからABSボール開発チームは何種類ものCoreと新しいCoverstock何種類とのテストが続きました。前進してはさらに高みを目指し、納得いくまでの作成作業は今日、一年の歳月が必要でした。その答えがNew Coverstock”Premium Pearl Reactive”とNew Core”Command Dual Density Core”です。“#4000Grit-Abralonでもしっかりとキャッチが実感できること”、“Mid Laneから動き始めても減速することなく曲り続けること”、“明確なバックエンドリアクションが感じられること”私達が求めたものが私がテストした結果そのものです。今回使用したPremium Pearl Reactiveは今までのCoverstockにくらべ摩擦係数が高く、ドライゾーンでの反応を非常に良く上げています。Boxfinishをあえて#4000Grit-Abralonで軽めに仕上げているのも、Coverの強さをできるだけそのまま利用することでバックエンドの動きを停滞させたくなかったからです。数値以上に転がりを感じるCommand Dual Density Coreとの相乗効果でリアクション特性はオイル上でも手前から良く転がり、バックエンドでしっかりと向きを変えて曲がると感じられるでしょう。約1年をかけた歳月はパフォーマンスとして表現できると思います。Medium Heavy～Heavyで曲がるボールをお探の方はこのボール決まりです。

特記事項

約1年ぶりにリリースするCommanderのシリーズは”Chief”。
バックエンドの動きが信条のHP領域のボールです。